

報告書抄録

ふりがな	しもいちつきじのみねひがしどおりだいにいせき							
書名	下市築地ノ峯東通第2遺跡							
副書名	一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	V							
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	49							
編著者名	森本倫弘、濱本利幸、北浩明、長尾かおり、坂本嘉和、門脇隆志、中村茂央、野津旭、木立雅朗、穴澤義功							
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260番地 TEL(0857)27-6711							
発行年月日	2013(平成25)年3月21日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
しもいちつきじのみねひがしどおり 下市築地ノ峯東通 だいにいせき 第2遺跡	とっとりけんさいはく 鳥取県西伯 郡大山町下 市397-7他	31371	大山4 -328	35°30'30"	133°33'15"	20100403 ～ 20101224	7,566㎡	一般国道9号 (中山名和道 路)の改築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
下市築地ノ峯東通 第2遺跡	生産遺跡	縄文時代	土坑 自然流路跡	縄文土器・黒曜石・ 安山岩製石器	石器製作址			
	集落	弥生時代～ 古墳時代	なし	弥生土器・土師器				
	生産遺跡	古代	窯跡 灰原 製鉄炉跡 排滓場 炭焼窯跡 瓦溜まり	窯壁・須恵器・硯・ 瓦・瓦製相輪・土 師器・製鉄関連遺 物	窯業と製鉄業の複合 生産遺跡			
	生産遺跡	近世以降	炭焼窯跡	なし				
要約	<p>下市築地ノ峯東通第2遺跡では縄文時代から近世に至る遺構や遺物を確認した。</p> <p>縄文時代早期末から前期初頭では4,000点以上の黒曜石・安山岩製石器が出土したことから、大規模な石器製作が行われていたと考えられ、遺跡内に集落が営まれたようすが窺える。</p> <p>平安時代の9世紀後半では須恵器窯と製鉄炉が同時期に近接して営まれ、多量の須恵器や瓦、製鉄関連遺物が出土した。そのうち、須恵器窯2基は瓦陶兼業窯で、焼成した瓦は上淀庵寺の補修瓦として供給された可能性が考えられる。製鉄炉は炉床部の遺存状態が良好で、完全な形で出土した炉底塊から炉内法が長さ2.6m、幅45cmの長大な箱形炉を復元することができた。遺跡周辺は古代伯耆国汗入郡に属しており、郡領層や在地の富豪層などが経営主体として考えられる。</p>							

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 49

一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書V

鳥取県西伯郡大山町

下市築地ノ峯東通第2遺跡
(自然科学分析・写真図版編)

発 行 2013年3月21日

編 集 鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

電 話 (0857)27-6711

発行者 鳥取県埋蔵文化財センター

印 刷 (有)米子プリント社

〒683-0845 米子市旗ヶ崎2218番地